

森研第32号  
平成24年 6月19日

関係各位

岐阜県森林研究所長

岐阜県森林研究所「研究・成果発表会」の開催について

日頃は、当所の試験研究業務にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。  
さて、当所では、下記のとおり研究・成果発表会を開催します。つきましては、多くの方に参加いただくとともに、関係者へお知らせいただきますようにご案内申し上げます。  
なお、参加を希望される場合は、下記により申し込みをお願いします。

記

1. 開催日時および場所

日時：平成24年7月20日（金）13:30～16:10（13:00より受付）  
場所：中濃総合庁舎5階大会議室（岐阜県美濃市生櫛1612-2 TEL：0575-33-4011）

2. プログラム（発表の詳細は別紙（裏面）のとおり）

13:30	開会・あいさつ	
13:35～14:40	講演	人工林を広葉樹林にもどす可能性 ～実用化事業「広葉樹林化プロジェクト」の成果から～ (独)森林総合研究所 森林植生研究領域長 田中浩氏
14:40～14:50	休憩	
14:50～15:15	発表①	ヒノキ人工林における下層植生の回復を考える 渡邊専門研究員
15:15～15:40	発表②	スギの造林を見つめなおす 茂木主任専門研究員
15:40～16:05	発表③	作業道における表土ブロック積み工法の法面保護効果 白田専門研究員
16:10	閉会	

3. 定員： 150人程度（参加無料）

4. 申し込み方法：

別紙申込書に記入の上、FAX、メール、葉書のいずれかにより7月13日（必着）までにお申し込みください。（葉書の場合は氏名（団体名）、電話番号を記入ください）

5. 申し込み・問い合わせ先：

岐阜県森林研究所（〒501-3714 美濃市曾代1128-1） 担当：土肥基生・水谷和人  
電話：0575-33-2585 FAX：0575-33-2584  
e-mail：c25108@pref.gifu.lg.jp

【発表内容】

発表① ヒノキ人工林における下層植生の回復を考える 森林環境部 専門研究員 <sup>わたなべひとし</sup> 渡 邊仁志

表土流亡の抑止を目的に、ヒノキ人工林の下層植生に及ぼす間伐の効果を検証しました。強度間伐や群状間伐を実施した林分で下層植生の発達が認められましたが、その程度にはばらつきがありました。また、上木の成長とともに一部の樹種が衰退をはじめていました。効果的な伐採率や間伐間隔を検討する必要があります。

発表② スギの造林を見つめなおす 森林資源部 主任専門研究員 <sup>もてきやすかず</sup> 茂木靖和

造林・育林作業の省力化・低コスト化は、今後の林業を考えるうえで避けて通れません。造林から約半世紀の間、調査を継続している下呂実験林のスギ林では、品種、植栽密度などの異なる試験地が設定されており、ここで得られた結果には今後の造林を考える上で多くのヒントが隠されています。このヒントを紹介します。

発表③ 作業道における表土ブロック積み工法の法面保護効果 森林資源部 専門研究員 <sup>うすだひさお</sup> 臼田寿生

作業道の盛土法面で実施されている表土ブロック積み工法の法面保護効果を調査しました。その結果、施工場所や施工者の習熟度の違いにより、法面保護効果に差が見られました。このため、表土ブロック積み工法による法面保護効果を発揮させるためには、工法に適した場所の選定および施工技術が必要であると考えられました。

岐阜県森林研究所研究・成果発表会  
参加申込書

機関名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

所属（部課名等）	氏名

できる限り機関ごとにとりまとめのうえ、FAX、メール、葉書のいずれかでお申し込みください。  
必要事項が記入してあれば、この申込書によらなくても結構です。

**FAX : 0575-33-2584**